

タイトル「**2023年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4607		
科目名	卒業論文		
担当教員	松尾 絵梨子		
対象学年	4年	開講学期	通年
曜日・時限	水 5		
講義室	1211,1209	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	8
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP3-G 〔状況把握力・判断力〕自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP3-H 〔論理的思考力・批判的思考力〕理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 DP4-F 〔探究力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I 〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP5-J 〔創造的挑戦力・達成力〕コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 ■CRコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（CR）との関連 F1 探求と論拠（20%） G1 状況把握（15%） H1 論理的思考（30%） I2 量的分析（15%） I3 情報分析（15%） J2 創造的思考（5%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	本学科での4年間に渡る経験を基に、各学生の興味関心の高い体育スポーツに関する幅広い学問領域を踏まえながら卒業論文としてまとめることを目的とします。文献や資料を正確に調べ、指導教員や受講生と討論を重ねながら、学生自身の課題を深化させていきます。そして卒業論文提出までに定期的な報告会を設定し、1年を通して卒業論文をまとめていきます。授業形態は演習形式により行います。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード： 文献精査、研究、反省的实践		
授業の趣旨	■副題 スポーツ科学に関する4年間の研究成果 ■授業の目的		

	4年間で学習した内容を基に自身で研究課題を設定しこれまでの講義・演習で学んだ研究方法を用いて計画の立案から実践まで行い、研究結果に関する他者との議論内容を踏まえ、論文としてまとめることができることを目的とします。 ■授業のポイント ゼミナールⅠ・Ⅱで学習した研究方法を用いて、運動生理・生化学における自身の研究課題について調査、実験、測定、データ分析を行い、その成果を論文としてまとめます。			
総合到達目標	■スポーツ科学分野における諸問題を把握し、その問題に対する論理的思考力と課題解決力を修得するために、運動生理・生化学における研究課題を分析し社会的な意義について理解する。また、スポーツ科学分野の新たな可能性を創造する能力を養うために、論文作成を通して研究結果を考察し、結果の解釈について深く考える態度を身につける。 ・自身およびグループの研究計画と関連づけながら文献を収集し、研究結果を予測することができる。（1～6回目、17回目） ・研究課題に応じた研究手法を選択し、研究計画に沿って実施することができる。（7～9回目、18～21回目） ・調査や実験から得られた結果を分析、考察し、発表準備および論文作成をすることができる。（10～12回目、22～28回目） ・発表や他者との討議を通して、研究のまとめ方を検討することができる。（12～15回目） ・他者との議論を積極的に行い、自身またはグループの研究内容を吟味し、発表内容に反映することができる。（27～28回目） ・これまで取り組んだ研究の発表を通して、他者との議論に積極的に参加することができる。（29回目） ・研究から得られた知見を振り返り、自身やグループの研究課題の社会的意義について評価することができる。（30回目）			
成績評価方法	■ポートフォリオ（10％）：適用ルーブリック F1・G1・H1・J2 （評価の観点）研究遂行時の記録ノートや資料への記載内容、収集した文献の状況について評価します。 （フィードバックの方法）授業内で確認し、研究に必要な事項が記載されていない場合にはその都度指導します。 ■定例プレゼンテーション（10％）：適用ルーブリック F1・H1・I2・I3・J2 （評価の観点）研究の進捗状況について定期的な発表を行い、その内容について評価を行います。 （フィードバックの方法）各発表後に講評を行います。 ■卒業論文（80％）：適用ルーブリック F1・H1・I2・I3・J2 （評価の観点）作成した卒業論文の内容について評価を行います。 （フィードバックの方法）卒業論文提出後に、面談を行います。			
履修条件	ゼミナールⅠ（SSCS4605）およびゼミナールⅡ（SSCS4606）を履修していること。			
履修上の注意点	卒業論文の執筆に際しては、計画的且つ自主的に進めるようにして下さい。			
授業内容	回	内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 卒業論文の進め方や評価について説明を行い、論文作成を進めていくための過程やその方法について理解し、卒業論文作成を通して何を学ぶかについて把握する（G1）。 ③予習（300分） ゼミナールでまとめた内容を再度確認する。シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（300分） ガイダンスによって説明された内容について再度シラバスを確認し、自身で取り組む内容とスケジュールについて確認しておく。	16	①授業テーマ 卒業論文完成にむけて ②授業概要 前期授業内容および中間発表会を振り返り、自身で論文をまとめていく過程を整理する（F1, G1）。 ③予習（300分） 前期授業内容および中間発表を振り返り、まとめていくのに必要な課題を整理しておく。 ④復習（300分） 論文提出までの過程を今一度確認し、次週以降の活動が円滑に進むよう内容を整理する。
	2	①授業テーマ 研究課題の検討 ②授業概要 自身の研究課題について運動生理学の手法に基づき検討する（F1）。 ③予習（300分）	17	①授業テーマ 研究遂行時の問題点の列挙およびその改善策の検討 ②授業概要 前期に実施した予備実験や予備調査から判明した研究遂行時の問題点を挙げ、

	ゼミナールⅠ・Ⅱ学んだ手法を再度確認しておく。 ④復習（300分） 検討した研究課題について、自身で確認しておく。		その改善策を検討する（F 1, I 3）。 ③予習（300分） 予備実験や予備調査実施時の問題点を挙げ、ノート等にまとめておく。 ④復習（300分） 予備実験や予備調査実施時の問題点とその改善策を整理しておく。
3	①授業テーマ 研究課題に関する文献検索① ②授業概要 自身の研究課題に関する先行研究について文献検索し、課題を決定する（F 1, I 3）。 ③予習（300分） ゼミナールⅠ・Ⅱで学んだ先行研究における文献検索の方法について調べておく。 ④復習（300分） 決定した研究課題に関する先行研究を整理し、さらに文献を収集しておく。	18	①授業テーマ 本実験および本調査の準備 ②授業概要 本実験や本調査に必要な機器や物品等を確認し、準備する（G 1, I 3）。 ③予習（300分） 予備実験や予備調査の問題点と改善策を再度確認し、本実験や本調査に必要な物をまとめておく。 ④復習（300分） 本実験や本調査に必要な準備物について再度検討しておく。
4	①授業テーマ 研究課題に関する文献検索② ②授業概要 自身の研究課題に関する先行研究について文献検索し、課題を決定する（F 1, I 3）。 ③予習（300分） ゼミナールⅠ・Ⅱで学んだ先行研究における文献検索の方法について調べておく。 ④復習（300分） 決定した研究課題に関する先行研究を整理し、さらに文献を収集しておく。	19	①授業テーマ 本実験および本調査の遂行① ②授業概要 本実験および本調査を実施する（F 1, G 1）。 ③予習（300分） 本実験や本調査に必要な物品を確認し、準備しておく。 ④復習（300分） 本実験や本調査から得られたデータをデータシート等に入力しておく。
5	①授業テーマ 研究方法の立案① ②授業概要 自身の研究課題に関する複数の先行研究を用いて、実験や調査の方法を立案する（F 1）。 ③予習（300分） 検索した複数の文献を熟読し、研究方法について考察しておく。 ④復習（300分） 立案した研究の方法について、再度確認しておく。	20	①授業テーマ 本実験および本調査の遂行② ②授業概要 本実験および本調査を実施する（F 1, G 1）。 ③予習（300分） 本実験や本調査に必要な物品を確認し、準備しておく。 ④復習（300分） 本実験や本調査から得られたデータをデータシート等に入力しておく。
6	①授業テーマ 研究方法の立案② ②授業概要 自身の研究課題に関する複数の先行研究を用いて、実験や調査の方法を立案する（F 1）。 ③予習（300分） 検索した複数の文献を熟読し、研究方法について考察しておく。 ④復習（300分） 先行研究を熟読し、立案した研究方法について再度確認しておく。	21	①授業テーマ 本実験および本調査の遂行③ ②授業概要 本実験および本調査を実施する（F 1, G 1）。 ③予習（300分） 本実験や本調査に必要な物品を確認し、準備しておく。 ④復習（300分） 本実験や本調査から得られたデータをデータシート等に入力しておく。
7	①授業テーマ 予備実験および予備調査の遂行① ②授業概要 立案した研究方法に基づき、予備実験や予備調査を行う（F 1, G 1）。 ③予習（300分）	22	①授業テーマ データ整理およびデータ解析① ②授業概要 本実験や本調査から得られたデータの整理と解析を行う（H 1, I 2）。 ③予習（300分）

	立案した研究方法による予備実験や予備調査実施時の留意点を確認し、必要な物品等を準備しておく。 ④復習（300分） 予備実験や予備調査から得られたデータを整理しておく。	データシートを見直し、データの誤入力がないか確認しておく。 ④復習（300分） 先行研究からデータ解析の方法を再度確認し、結果の表現方法について検討しておく。
8	①授業テーマ 予備実験および予備調査の遂行② ②授業概要 立案した研究方法に基づき、予備実験や予備調査を行う（F 1, G 1）。 ③予習（300分） 立案した研究方法による予備実験や予備調査実施時の留意点を確認し、必要な物品等を準備しておく。 ④復習（300分） 予備実験や予備調査から得られたデータを整理しておく。	①授業テーマ データ整理およびデータ解析② ②授業概要 本実験や本調査から得られたデータの整理と解析を行う（H 1, I 2）。 ③予習（300分） データシートを見直し、データの誤入力がないか確認しておく。 ④復習（300分） 先行研究からデータ解析の方法を再度確認し、結果の表現方法について検討しておく。
9	①授業テーマ 予備実験および予備調査の遂行③ ②授業概要 立案した研究方法に基づき、予備実験や予備調査を行う（F 1, G 1）。 ③予習（300分） 立案した研究方法による予備実験や予備調査実施時の留意点を確認し、必要な物品等を準備しておく。 ④復習（300分） 予備実験や予備調査から得られたデータを整理しておく。	①授業テーマ 卒業論文の作成① ②授業概要 解析したデータを用いて、卒業論文を作成する（H 1, I 3, J 2）。 ③予習（300分） ゼミナール資料や先行研究を読み返し、論文の構成や記述方法について再度確認しておく。 ④復習（300分） 自身のスケジュールと卒業論文作成の進捗状況を照合し、各自で作成を進めておく。
10	①授業テーマ 予備実験および予備調査結果のまとめ① ②授業概要 予備実験や予備調査から得られたデータを整理し、まとめ方について検討する（H 1, I 2, J 2）。 ③予習（300分） データのまとめ方について、ゼミナール資料や先行研究を読み返し、確認しておく。 ④復習（300分） まとめたデータを再度確認し、結果としての表現（グラフや表など）の適正について検討しておく。	①授業テーマ 卒業論文の作成② ②授業概要 解析したデータを用いて、卒業論文を作成する（H 1, I 3, J 2）。 ③予習（300分） ゼミナール資料や先行研究を読み返し、論文の構成や記述方法について再度確認しておく。 ④復習（300分） 自身のスケジュールと卒業論文作成の進捗状況を照合し、各自で作成を進めておく。
11	①授業テーマ 予備実験および予備調査結果のまとめ② ②授業概要 予備実験や予備調査から得られたデータを整理し、まとめ方について検討する（H 1, I 2, J 2）。 ③予習（300分） データのまとめ方について、ゼミナール資料や先行研究を読み返し、確認しておく。 ④復習（300分） まとめたデータを再度確認し、結果としての表現（グラフや表など）の適正について検討しておく。	①授業テーマ 卒業論文の作成③ ②授業概要 解析したデータを用いて、卒業論文を作成する（H 1, I 3, J 2）。 ③予習（300分） ゼミナール資料や先行研究を読み返し、論文の構成や記述方法について再度確認しておく。 ④復習（300分） 自身のスケジュールと卒業論文作成の進捗状況を照合し、各自で作成を進めておく。
12	①授業テーマ 予備実験および予備調査結果のまとめ	①授業テーマ 発表の準備①

	③ ②授業概要 予備実験や予備調査から得られたデータを整理し、まとめ方について検討する（H 1, I 2, J 2）。 ③予習（300分） データのまとめ方について、ゼミナール資料や先行研究を読み返し、確認しておく。 ④復習（300分） まとめたデータを再度確認し、結果としての表現（グラフや表など）の適正について検討しておく。	②授業概要 最終発表に向けた資料（スライド、ポスター、発表原稿など）の作成や発表内容について議論する（H 1, I 3, J 2）。 ③予習（300分） 分析したデータの最適な表現（図、表）や発表資料のレイアウトについて検討しておく。 ④復習（300分） 作成した発表資料や議論した発表内容を再度確認し、適宜修正を加えておく。
13	①授業テーマ 中間発表会① ②授業概要 自身で取り組む研究の経過について発表を行う（H 1, I 3）。 ③予習（300分） これまでの発表形式での授業を参考に、より伝わるプレゼンテーションを目指し、繰り返し練習を行っておく。 ④復習（300分） プレゼンテーションを振り返り、必要な修正や、課題の抽出を行っておく。	28 ①授業テーマ 発表の準備② ②授業概要 最終発表に向けた資料（スライド、ポスター、発表原稿など）の作成や発表内容について議論する（H 1, I 3, J 2）。 ③予習（300分） 分析したデータの最適な表現（図、表）や発表資料のレイアウトについて検討しておく。 ④復習（300分） 作成した発表資料や議論した発表内容を再度確認し、適宜修正を加えておく。
14	①授業テーマ 中間発表会② ②授業概要 自身で取り組む研究の経過について発表を行う（H 1, I 3）。 ③予習（300分） これまでの発表形式での授業を参考に、より伝わるプレゼンテーションを目指し、繰り返し練習を行っておく。 ④復習（300分） プレゼンテーションを振り返り、必要な修正や、課題の抽出を行っておく。	29 ①授業テーマ 最終発表会① ②授業概要 自身で取り組んだ研究について発表を行う（H 1, I 3）。 ③予習（300分） これまでの準備によって作成された発表内容が正しく聴衆に伝わるよう繰り返し練習を行っておく。 ④復習（300分） 発表を振り返り今後のプレゼンテーション能力向上のため課題を抽出しておく。
15	①授業テーマ 中間発表会の振り返り ②授業概要 中間発表会を振り返り、自身の研究をまとめていくための討議を他者を含めて行う（G 1, H 1）。 ③予習（300分） 自身の発表内容および受け付けた質疑について確認しておく。 ④復習（300分） 討議結果を振り返り、今後の課題や、方向性の修正などを行う。	30 ①授業テーマ 最終発表会②およびまとめ ②授業概要 自身で取り組んだ研究について発表を行う。その後発表内容について講評を受ける（G 1, H 1, I 3）。 ③予習（300分） これまでの準備によって作成された発表内容が正しく聴衆に伝わるよう繰り返し練習を行っておく。 ④復習（300分） 発表を振り返り今後のプレゼンテーション能力向上のため課題を抽出しておく。
関連科目	ゼミナールⅠ（SSCS4605）、ゼミナールⅡ（SSCS4606）	
教科書	ありません。	
参考書・参考URL	「健康・スポーツ科学のための研究方法―研究計画の立て方とデータ処理方法―」 出村慎一著（杏林書院） 「体育・スポーツ系大学生のための論文・レポートの書き方」 国士舘大学大学院スポーツ・システム研究科編（アイオーエム）	

連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 開講時に告知します。
研究比率	

